

文部科学省選定
平成 29 年度 広島文化学園大学研究ブランディング事業 研修会
—スヌーズレン研修会 第 2 回—

主催 広島文化学園大学
HBG 対人援助研究センター
子ども・子育て教育福祉部門

場所：広島文化学園大学 長束キャンパス 講義室 6210・スヌーズレン実践室

日時：平成 30 年 2 月 23 日（金）9：00～15：00

講師：常葉大学 教育学部 初等教育課程 姉崎 弘 教授 j

参加者：本学教員 山崎晃センター長、眞田敏教授、八島美菜子教授、和田玲子准教授、
田頭伸子教授、橋本翠准教授、升本絢也専門員

一般参加 社会福祉法人 三滝苑 3 名

子ども学科博士課程後期 鈴木薫 計 11 名

広島文化学園 HBG 対人援助研究センター 子ども・子育て教育福祉研究部門では、研究ブランディング事業の取り組みとして、スヌーズレンを用いた対人援助プログラムの作成とそのサポーター育成を行っておりますが、教職員や支援サポーターへのスヌーズレンへの学びを深めるために研修会を行いました。第二回目の研修会として国内のスヌーズレンにおける第一人者である常葉大学 教育学部 初等教育課程 姉崎弘先生をお招きし、スヌーズレンに関する歴史・理論・ねらい・機能等についての理解や、本学のスヌーズレン施設を用いた適正な使用法・効果等についてワークショップを通して学びを深めました。



<講義する姉崎先生>

スヌーズレン施設

を用いた適正な使用法・効果等についてワークショップを通して学びを深めました。

午前中には、「スヌーズレンの根本的思想と今日までの発達過程」という題目で講義いただきました。姉崎先生にスヌーズレンの歴史、理念、思想、定義、指導法、実践法等について丁寧に説明いただき、スヌーズレン



<聴講席の様子>

への知識を深める事ができました。

午後は、最初に講義形式で、スヌーズレンの実践指導について実技の基本的な考え方について教示いただき、実践の講義に備えました。次にスヌーズレン実践室に移動し、まず、眞田敏教授が自らの発達支援事業でのスヌーズレン活用方法



<関連図書を紹介する姉崎先生>

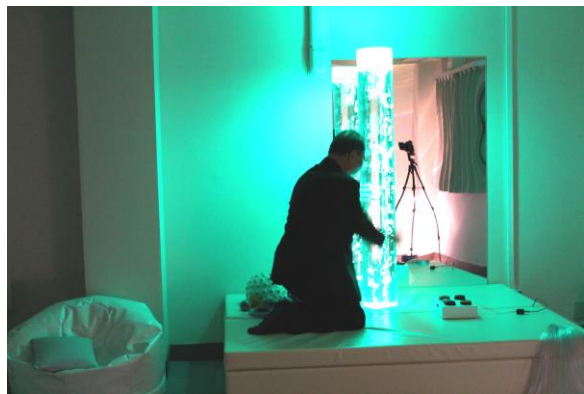
を説明し、その利用方法に対して姉崎先生からアドバイスを頂くと共に、本学の活用方法と改善方法について教職員・支援サポーターで共有しました。

その後、実際にスヌーズレン機器を一つ一つのよりよい利用方法等、丁寧に説明していただきました。また、本学のスヌーズレン施設について、ソファやクッション等を追加することでよりリラックス効果を上げられるとご助言をいただきました。

今後も、来年度もスヌーズレン研修会を継続的に開催し、三滝苑の職員や学生等の地域支援サポーターと連携し、スヌーズレンによる対人援助プログラムの作成とサポーター養成を推進し、スヌーズレンの広島文化学園大学として地域に認知されるよう、努力して参ります。



<午後の実技の前に事前講義>



<バブルチューブについての講義>



<スターライトクラウドについての講義>



<サイドグロウについての講義>



<参加者全員で記念撮影>